



I FLAG

平成25年3月期 第3四半期
決算補足説明資料
(連結)

平成25年2月8日

株式会社アイフラッグ
<http://www.iflag.co.jp/>

当社は、平成24年1月4日に、商号を株式会社SBRから株式会社アイフラッグに変更いたしました。

目次

中期経営方針「事業構造改革」の概要	… 3	補足資料	
事業構造改革による損益構造の変化	… 4	平成25年3月期 業績予想(通期)	…17
事業構造改革の推進状況と「当期経営方針」	… 5	平成25年3月期 業績予想(半期別)	…18
事業構造改革の進捗状況	… 6	サービス別売上高予想(通期)	…19
損益計算書	… 7	サービス別売上高予想(半期別)	…20
サービス別売上高	… 8	営業費用予想(通期)	…21
営業費用	… 9	営業費用予想(半期別)	…22
損益計算書(四半期推移)	…10		
サービス別売上高(四半期推移)	…11		
営業費用(四半期推移)	…12		
貸借対照表	…13		
キャッシュ・フロー	…14		
お問い合わせ	…15		

中期経営方針「事業構造改革」の概要

中期経営方針

新商材クラウドパッケージの販売開始を機に実行する
当社グループの「**事業構造改革**」の推進

事業構造改革

安定したストック型ビジネスへの転換に向けた改革

ビジネスモデル改革

主力商材変更により、
ビジネスモデルをフロー型からストック型へ転換

損益構造改革

収益及びコストの両面から構造改革に取り組み、
損益構造を数年間で抜本的に改革

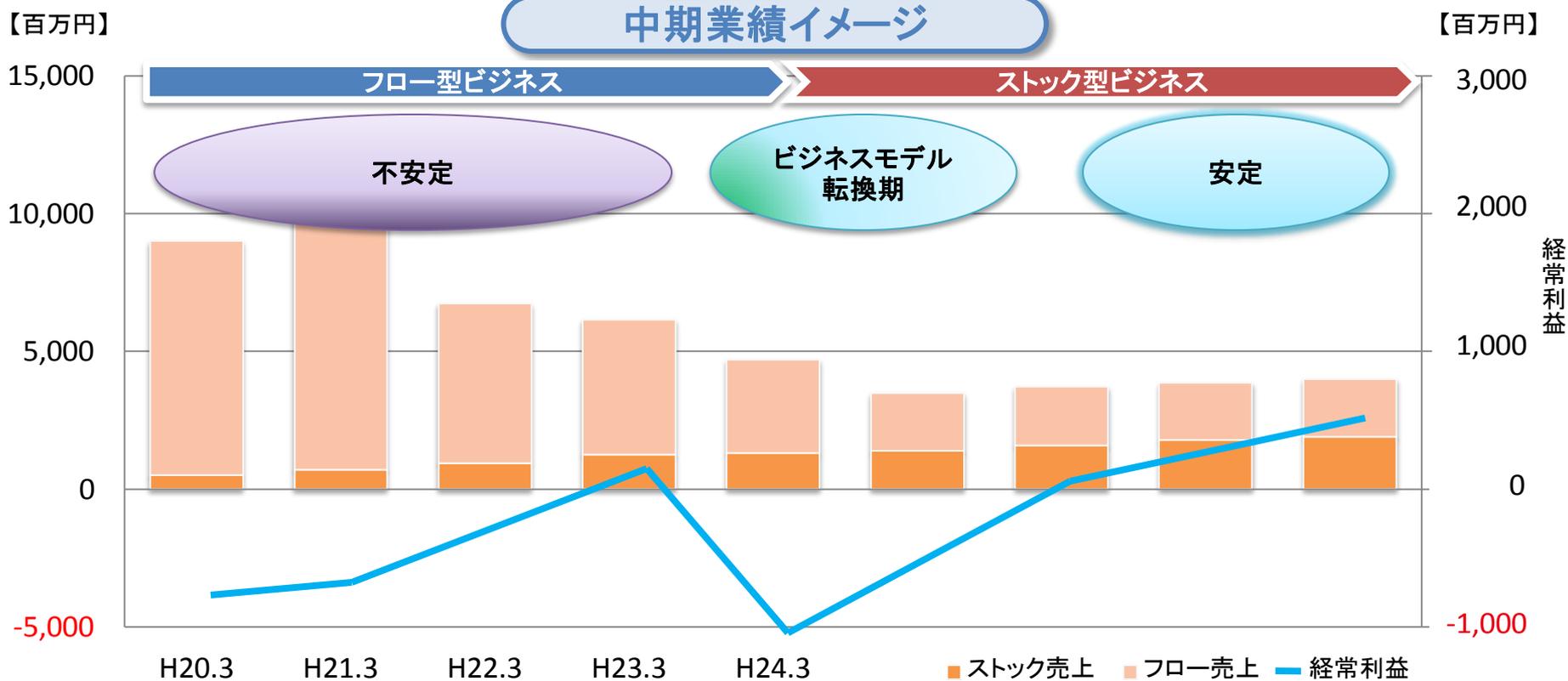
収益構造改革

ストック型ビジネスへの転換により、
中期安定的な収益構造へ転換

コスト構造改革

営業費用(売上原価及び販管費)の最適化により、
コスト構造を改善

事業構造改革による損益構造の変化



売上高(中期業績イメージ)

ストック型ビジネスへの転換期において、**一時的に減少** その後はストック売上が積み上がり、**安定成長**

経常損益(中期業績イメージ)

売上高減少期において、**短期的に赤字を計上** その後は売上高の成長に合わせて**安定的に利益確保**

事業構造改革の推進状況と「当期経営方針」



当期経営方針

安定したストック型ビジネスへの転換に向けた**基盤構築の完了**

事業構造改革の進捗状況

収益構造改革

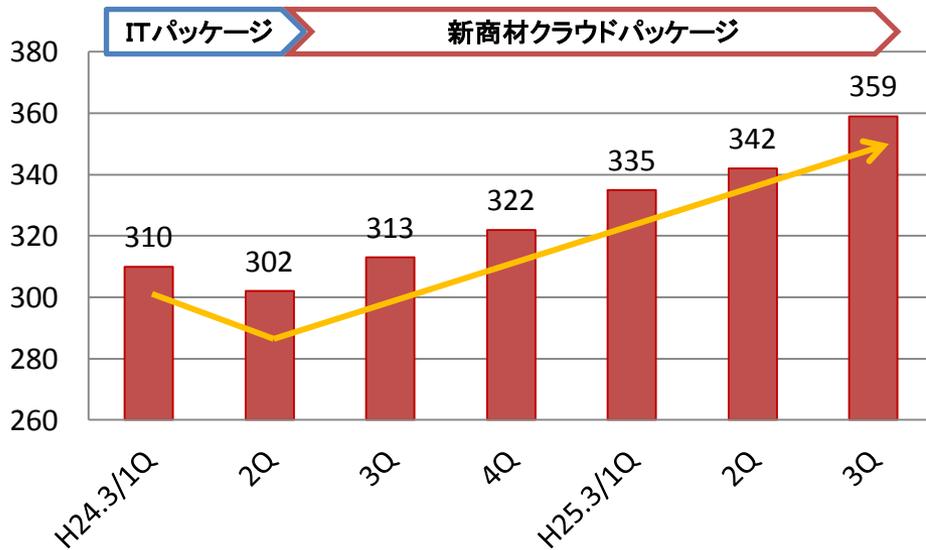
新商材の契約アカウント数の増加等により、
ストック売上が前四半期比で16百万円増加

コスト構造改革

コスト最適化の推進等により、
営業費用が前四半期比で31百万円減少

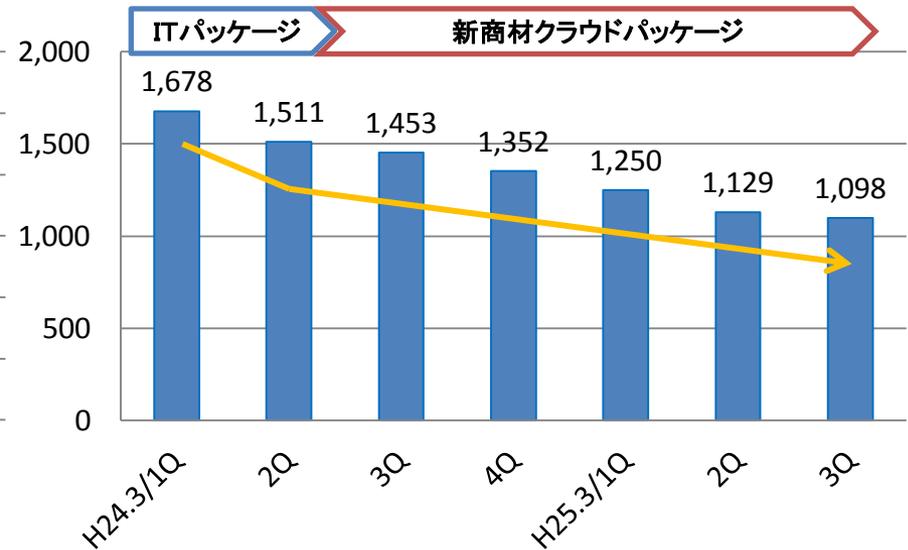
ストック売上推移

【百万円】



営業費用

【百万円】



損益計算書

業績予想に対しては、堅調に推移

売上原価・販管費の大幅な圧縮により、前期に対しては、損失が大幅に縮小

【単位:百万円】	H25.3 3Q累計 (実績)	売上比	対前期 増減率	対前期 差額	H25.3 通期累計 (予想)	対通期累計 業績予想 進捗率
売上高	3,118	100.0%	△17.6%	△664	4,124	75.6%
売上原価	865	27.7%	△29.7%	△365	1,140	75.9%
売上総利益	2,253	72.3%	△11.7%	△299	2,983	75.5%
販管費	2,612	83.8%	△23.5%	△800	3,408	76.7%
営業利益(△損失)	△359	△11.5%	—	+501	△424	—
経常利益(△損失)	△175	△5.6%	—	+591	△339	—
四半期純利益(△純損失)	△194	△6.2%	—	+866	△364	—

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

- » **売上高は、業績予想に対しては、堅調に推移。**ビジネスモデル転換等により、**前期に対しては、17.6%減少**
- » **営業費用は、業績予想に対しては、堅調に推移。**コスト圧縮の進展等により、**前期に対しては、25.1%減少**
- » **結果、営業利益及び経常利益は、業績予想に対しては、堅調に推移。**売上高は減少したものの、コストの大幅な圧縮により、**前期に対して、損失が大幅に縮小**
- » **純利益は、主力商材の切り替えに伴う特別損失の発生がないため、前期に対しては、損失が大幅に縮小**

サービス別売上高

業績予想に対しては、堅調に推移

ビジネスモデル転換等により、前期に対しては、フロー売上が大幅に減少

【単位:百万円】	H25.3 3Q累計 (実績)	構成比	対前期 増減率	対前期 差額	H25.3 通期累計 (予想)	対通期累計 業績予想 進捗率
ホームページソリューション	2,583	82.8%	△21.2%	△695	3,514	73.5%
ストック売上	1,036	33.2%	+11.8%	+109	1,398	74.1%
フロー売上	1,546	49.6%	△34.2%	△805	2,115	73.1%
IT支援	535	17.2%	+6.2%	+31	609	87.8%
売上高	3,118	100.0%	△17.6%	△664	4,124	75.6%

※1: ホームページソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの売上高を示します。

※2: スtock売上は、サービス料(月額課金)の売上高を示します。(前期及び当期ともに、旧商材と新商材の売上です。)

※3: フロー売上は、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。(前期は、旧商材と新商材の売上です。当期は、新商材の売上です。)

※4: IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他の売上高を示します。

※5: 当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

» **業績予想に対しては、ホームページソリューション・IT支援ともに堅調に推移**

» 前期においては、ストック売上と相反するフロー売上の比率の高い旧商材ITパッケージを販売していたこと等により、**フロー売上が34.2%減少したため、前期に対しては、売上高が17.6%減少**

営業費用

業績予想に対しては、堅調に推移

コスト圧縮の進展により、前期に対しては、売上原価と販管費が大幅に減少

【単位:百万円】	H25.3 3Q累計 (実績)	売上比	対前期 増減率	対前期 差額		H25.3 通期累計 (予想)	対通期累計 業績予想 進捗率
売上原価	865	27.7%	△29.7%	△365		1,140	75.9%
人件費	1,651	53.0%	△26.3%	△590		2,074	79.6%
地代家賃	177	5.7%	△7.7%	△14		237	75.0%
旅費交通費	124	4.0%	△17.8%	△26		151	81.9%
その他販管費	658	21.1%	△20.3%	△167		944	69.7%
販管費	2,612	83.8%	△23.5%	△800		3,408	76.7%
営業費用	3,478	111.5%	△25.1%	△1,165		4,548	76.5%

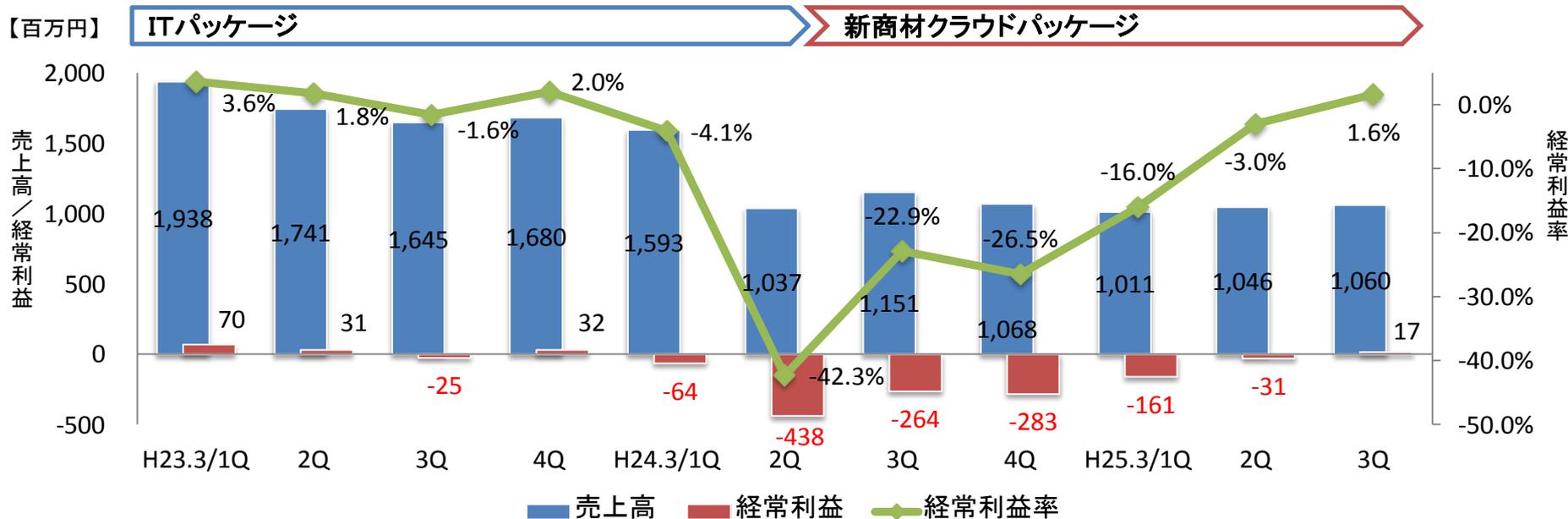
※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

» **業績予想に対しては、売上原価・販管費ともに堅調に推移**

» 前期において、主力商材の自社開発商材への切り替え等により売上原価抑制に取り組んだ効果と、販管費の圧縮に取り組んだ効果に加え、当期におけるコスト圧縮により、**前期に対しては、営業費用が25.1%減少**

損益計算書(四半期推移)

**売上高の増加と営業費用の減少により、経常損益が前四半期比で改善
第3四半期の経常損益が黒字転換**

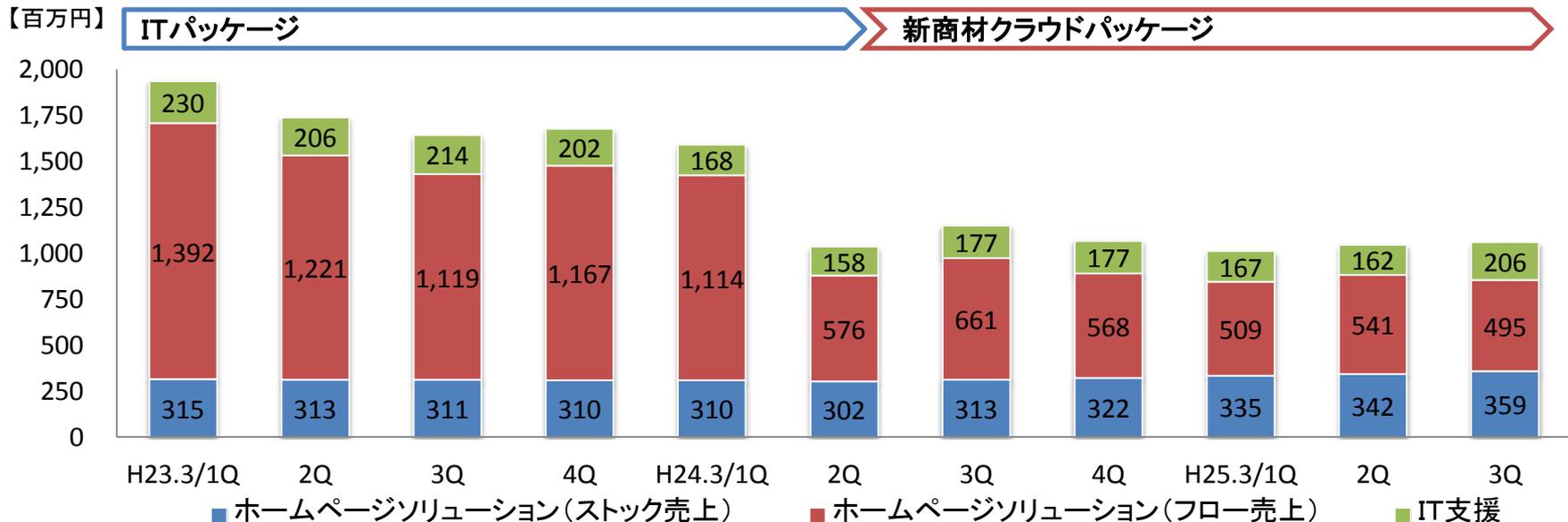


第3四半期の状況 (前四半期比較)

- » **売上高が1.4%増加**したことに加え、**営業費用が2.8%減少**したことから、**経常損益が改善**
- » 事業構造改革の進展に加え、営業外収益の計上により、**第3四半期の経常損益は黒字転換**

サービス別売上高(四半期推移)

フロー売上は減少したものの、ストック売上及びIT支援の増加により、
売上高が前四半期比で増加



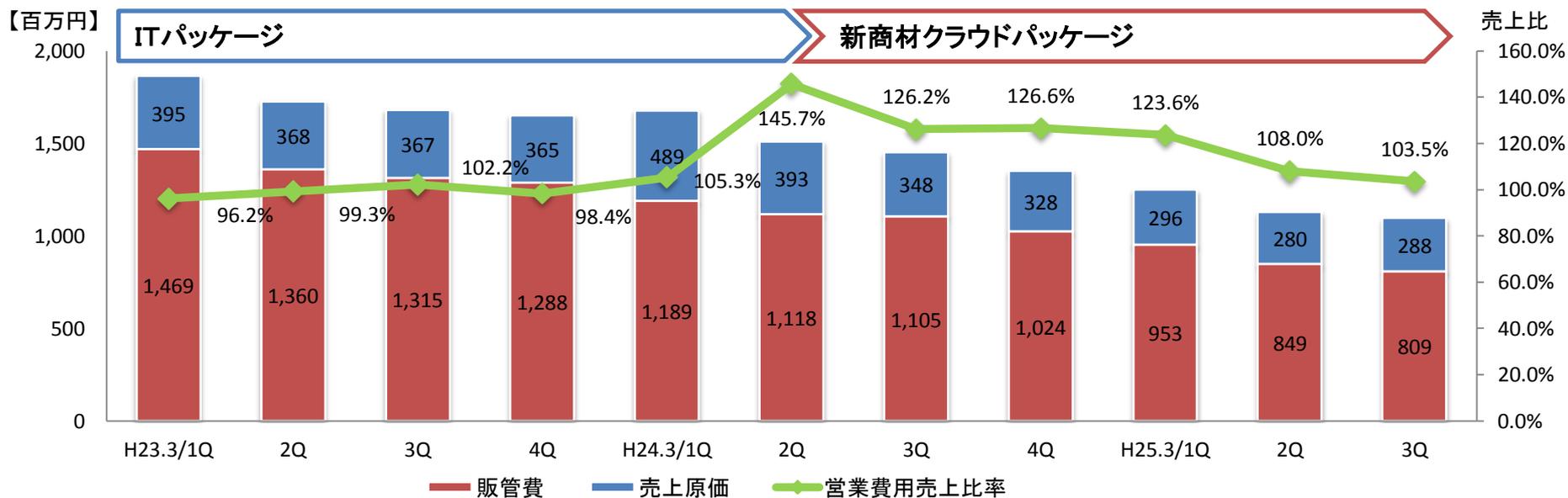
第3四半期の状況 (前四半期比較)

- » 厳しい景況感の影響等によりフロー売上が8.6%減少したものの、ホームページソリューションの契約顧客アカウント数の増加等により、ストック売上が増加
- » ヤフー商材売上及びWEB広告売上が増加したことから、IT支援の売上が27.3%増加
- » 結果、売上高は、1.4%増加

営業費用(四半期推移)

ローコスト・オペレーションの継続推進等により、
営業費用が前四半期比で減少

営業費用	1,865	1,728	1,682	1,654	1,678	1,511	1,453	1,352	1,250	1,129	1,098
売上比	96.2%	99.3%	102.2%	98.4%	105.3%	145.7%	126.2%	126.6%	123.6%	108.0%	103.5%



第3四半期の状況（前四半期比較）

- » ローコスト・オペレーションの継続推進等により、**販管費が4.7%減少**
- » 結果、**営業費用は2.8%減少**

貸借対照表

短期借入金の返済等により、**流動資産及び流動負債が減少**
 四半期純損失の計上等により、**純資産が減少**

【単位:百万円】	H24.3末	構成比	H24.12末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産	2,657	63.5%	1,727	55.7%	△35.0%	△929
固定資産	1,530	36.5%	1,375	44.3%	△10.1%	△154
資産 合計	4,187	100.0%	3,103	100.0%	△25.9%	△1,084
流動負債	1,784	42.6%	887	28.6%	△50.2%	△896
固定負債	3	0.1%	3	0.1%	0%	±0
負債	1,788	42.7%	891	28.7%	△50.1%	△896
純資産	2,399	57.3%	2,211	71.3%	△7.8%	△187
負債・純資産 合計	4,187	100.0%	3,103	100.0%	△25.9%	△1,084

第3四半期の状況（前期末比較）

- » 借入金の返済等による**現金及び預金の減少**等により、**流動資産は減少**
- » 借入金の返済による**短期借入金の減少、未払金の減少**等により、**流動負債は減少**
- » 四半期純損失の計上等による**利益剰余金の減少**等により、**純資産は減少**

キャッシュ・フロー

短期借入金の返済、システム移行費用の支払、無形固定資産の取得等により、**現金及び現金同等物の残高が減少**

【単位:百万円】	H24.3 3Q累計	H25.3 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△591	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△604	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	3	△500
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△1,191	△699
現金及び現金同等物の期末残高	1,944	1,367

- » システム移行費用の支払等により、営業CFはマイナス
- » 新商材の開発推進等により、投資CFはマイナス
- » また、短期借入金の返済により、財務CFがマイナスとなったため、現金及び現金同等物の残高は減少

お問い合わせ

株式会社アイフラッグ 経営管理部(IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail ir@iflag.co.jp

IRインフォメーション

アイフラッグ IRページ

<http://www.iflag.co.jp/ir.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が入手している情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により、本資料に記載されている情報と大きく異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通し等のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

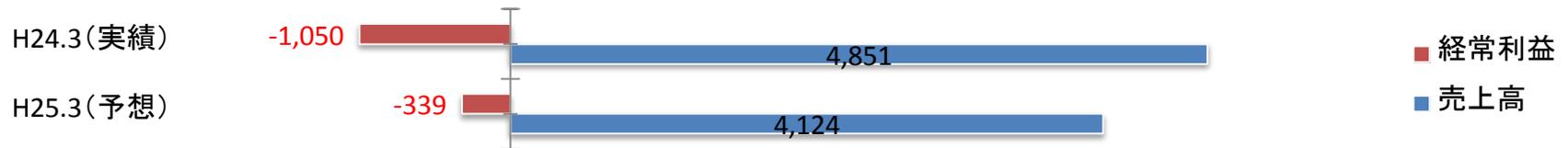
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

補足資料

平成25年3月期 業績予想(通期)

【単位:百万円】	H24.3通期 (実績)	売上比	H25.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上高	4,851	100.0%	4,124	100.0%	△15.0%	△727
売上原価	1,559	32.1%	1,140	27.7%	△26.9%	△418
売上総利益	3,292	67.9%	2,983	72.3%	△9.4%	△309
販管費	4,437	91.5%	3,408	82.6%	△23.2%	△1,029
営業利益(△損失)	△1,144	△23.6%	△424	△10.3%	—	+720
経常利益(△損失)	△1,050	△21.7%	△339	△8.2%	—	+710
当期純利益(△純損失)	△1,367	△28.2%	△364	△8.8%	—	+1,003

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。



通期の予想 (H24.3比較)

- » H24.3は上半期途中までフロー売上の比率の高い旧商材を販売していたこと等により、**売上高が15.0%減少の見込み**
- » しかし、H24.3のコスト圧縮効果が通年で寄与することに加え、引き続きコストのコンパクト化を進めること等により、**営業費用が24.1%減少の見込みのため、営業利益以下の各区分利益は、損失が大幅に縮小する見通し**

平成25年3月期 業績予想(半期別)

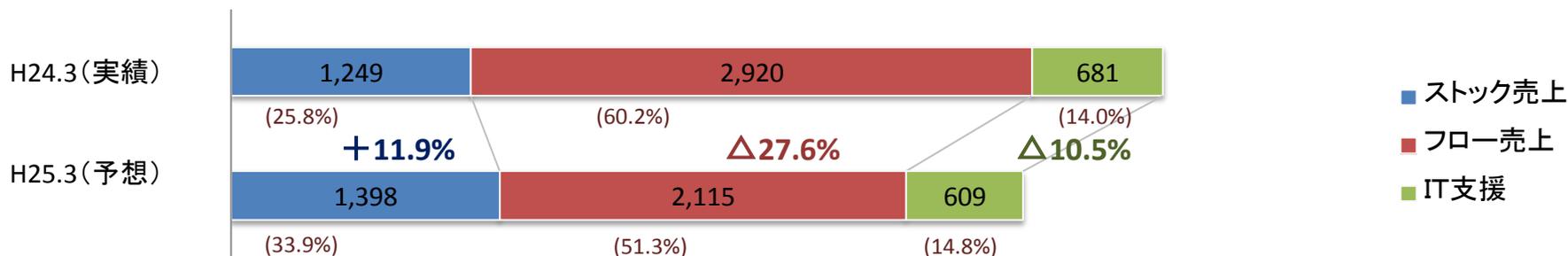
【単位:百万円】	H25.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H25.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	2,057	100.0%	△21.8%	2,066	100.0%	△6.9%
売上原価	576	28.0%	△34.7%	563	27.3%	△16.7%
売上総利益	1,481	72.0%	△15.3%	1,502	72.7%	△2.7%
販管費	1,803	87.6%	△21.9%	1,605	77.7%	△24.6%
営業利益(△損失)	△321	△15.6%	—	△102	△5.0%	—
経常利益(△損失)	△193	△9.4%	—	△146	△7.1%	—
当期純利益(△純損失)	△209	△10.2%	—	△155	△7.5%	—

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

サービス別売上高予想(通期)

【単位:百万円】	H24.3通期 (実績)	構成比	H25.3通期 (予想)	構成比	対前期 増減率	対前期 増減額
ホームページソリューション	4,170	86.0%	3,514	85.2%	△15.7%	△655
ストック売上	1,249	25.8%	1,398	33.9%	+11.9%	+148
フロー売上	2,920	60.2%	2,115	51.3%	△27.6%	△804
IT支援	681	14.0%	609	14.8%	△10.5%	△71
売上高	4,851	100.0%	4,124	100.0%	△15.0%	△727

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。



通期の予想 (H24.3比較)

- » ストック売上の比率の高い新商材の契約顧客アカウント数の増加等により、**ストック売上が11.9%増加の見込み**
- » しかし、H24.3は上半期途中までフロー売上の比率の高い旧商材を販売していたこと、また、厳しい景況感が続くことが予想されること等により、**フロー売上が27.6%減少の見込みのため、売上高は減少する見通し**

サービス別売上高予想(半期別)

【単位:百万円】	H25.3上期 (予想)	構成比	対前期 増減率	H25.3下期 (予想)	構成比	対前期 増減率
ホームページソリューション	1,728	84.0%	△25.0%	1,785	86.4%	△4.3%
ストック売上	677	32.9%	+10.4%	721	34.9%	+13.4%
フロー売上	1,051	51.1%	△37.8%	1,064	51.5%	△13.5%
IT支援	329	16.0%	△0.6%	280	13.6%	△20.8%
売上高	2,057	100.0%	△21.8%	2,066	100.0%	△6.9%

※1:ホームページソリューションは、旧商材ITパッケージと新商材クラウドパッケージの売上高を示します。

※2:ストック売上は、ホームページソリューションのうち、サービス料(月額課金)の売上高を示します。(前期及び当期ともに、旧商材と新商材の売上です。)

※3:フロー売上は、ホームページソリューションのうち、初期導入費用(導入初月に一括計上)の売上高を示します。(前期は、旧商材と新商材の売上です。)

当期は、新商材の売上です。)

※4:IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他の売上高を示します。

※5:当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

営業費用予想(通期)

【単位:百万円】	H24.3 通期累計 (実績)	売上比	H25.3 通期累計 (予想)	売上比	対前期 増減率	対前期 増減額
売上原価	1,559	32.1%	1,140	27.7%	△26.9%	△418
人件費	2,896	59.7%	2,074	50.3%	△28.4%	△822
地代家賃	255	5.3%	237	5.7%	△7.3%	△18
旅費交通費	194	4.0%	151	3.7%	△21.9%	△42
その他販管費	1,090	22.5%	944	22.9%	△13.4%	△145
販管費	4,437	91.5%	3,408	82.6%	△23.2%	△1,029
営業費用	5,996	123.6%	4,548	110.3%	△24.1%	△1,448

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。

通期の予想 (H24.3比較)

- » H24.3に**主力商材を自社開発商材に切り替えたことによるコストの抑制の効果**が、通年でコストの低減に寄与すること等により、**売上原価が26.9%減少の見込み**
- » また、H24.3のコスト圧縮の効果が通年で寄与することに加え、引き続きコストのコンパクト化を進めること等により、**販管費が23.2%減少の見込みのため、営業費用は大幅に減少する見通し**

営業費用予想(半期別)

【単位:百万円】	H25.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H25.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上原価	576	28.0%	△34.7%	563	27.3%	△16.7%
人件費	1,152	56.0%	△24.3%	921	44.6%	△33.0%
地代家賃	118	5.8%	△8.3%	118	5.7%	△6.4%
旅費交通費	81	4.0%	△20.3%	70	3.4%	△23.6%
その他販管費	450	21.9%	△18.6%	494	23.9%	△7.7%
販管費	1,803	87.6%	△21.9%	1,605	77.7%	△24.6%
営業費用	2,379	115.6%	△25.4%	2,168	105.0%	△22.7%

※当社は、平成24年10月17日に、当期の業績予想の修正を発表しております。